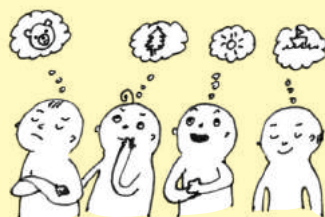


釜芸得意!

このころのたねとしての のつくり方



1 みんなで集まる。ウォーミングアップ。
(例：呼ばれたい名前を言う、ストレッチする、
近況報告をする、など)



2 テーマを話し合って決める。
(例：思い出の場所、持ち物、具体的なもの、
抽象的なもの、なんでも)



3 ひとりに3枚ずつ、
紙をくばる。



4 ペアを決め
(なるべく知らない人同士で)、
となりあって座る。



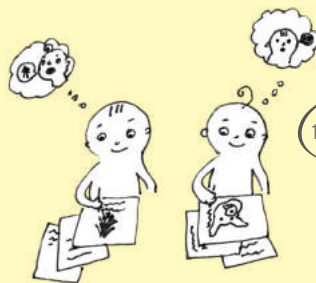
5 約2分 テーマから、おもいつく絵を
なるべく下手くそに
(詩を書くためのスペースをあけて) 描く。



6 6~7分
その絵も手がかりに、インタビュー。
なるべく具体的に質問する。
答える方は正しさなどにこだわらず直感で。
話したいことがあれば話す。
質問者はメモをとる。



7 インタビュー交代。
同じように。



8 10~15分
絵を描いた紙を交換する。詩をつくってみる。
相手の絵、メモ、聴いたこと、
うけとった印象などを手がかりに。
まず試しに1枚の紙に書いてみて、
推敲などして、相手が描いた絵の紙に清書する。
日付、〇〇さんの話を聞いて、作者名をそえる。



9 朗読発表会：
朗読のコツをおさらいしてから、
ペアごとに朗読する。
あるいは6人くらいのグループで
シェアする。

假奈代の朗読のコツ

- ・文字ではなくイメージを読む。
- ・文末のあともう一呼吸分まで
- ・届きたい人の胸に声のボールを届ける
- ・耳を澄ませて聴く、読む人も、聴く人も

用意するもの(人数分)

- ・紙3枚(画用紙やすこし大きめの紙1枚、A4のコピー用紙など2枚)
- ・ペン(色のついたペンやクレヨンなど、メモ用のボールペン)

ひとりずつくらない他力本願詩(であいのインタビュー詩)。
ふたり一組になってお互いに聴き合って、
詩を贈りあいます。